

様式第3号

令和〇年 〇月 〇〇日

さいたま市長

不育症検査期間は実際に検査を始めた日から検査を終えた日までの期間をご記入下さい。（1年を超える場合もその期間をご記入下さい）

所在地 〇〇市××-

医療機関 〇〇病院

主治医氏名 〇〇 × ×

印

（主治医が自署又は記名押印）

医療機関での記載・押印が必要です。

助成対象期間は検査の開始日から1年間となります。

さいたま市不育症検査実施証明書（記入例）

実施した検査の患者負担額をご記入下さい。（文書料含む）

仮に1年を超える検査であった場合、助成対象となる不育症検査に係る患者負担額は開始から1年分の金額となります。

他に治療などを行った場合や一年を超える検査の場合、実施証明書の額は検査に係る期間の金額のみを記入ください。

明細書、領収書内で切り分けることができない際は「うち1年間の不育症検査費に係る金額〇〇〇円」などと追記してください。

夫の 名前	さいたま 太郎	生年月日	昭和 平成	●●年 月 ●×日（▲● 歳）
妻の 名前	さいたま はなこ	生年月日	昭和 平成	検査開始日の妻年齢が43歳未満であることが要件となります。
助成対象者であることの確認 （右記該当項目に☑）	☒ 2回以上の流産、死産の既往がある者 ☐ 医師が不育症と判断した者			
不育症検査期間※1	検査期間 令和●年 3月 1日 ~ 令和●年 5月 1日			
助成対象の期間	夫又は妻の検査開始日のうち、どちらか早い日 令和●年 3月 1日 ~ 1年間			
助成対象となる不育症検査に係る 患者負担（領収）額※2	45,000円			
検査種類	検査項目（下記該当項目に☑）			
不育症検査※2	☐ 子宮形態検査（経膈超音波、子宮卵管造影、 ☐ 内分泌検査（甲状腺機能、糖尿病検査） ☒ 夫婦染色体検査 ☐ 抗リン脂質抗体（抗カドオリフィンβ2グロブリンI複合体抗体、ループスアンチコアグulant、 抗CLIgG抗体、抗CLIgM抗体、抗PEIgG抗体、抗PEIgM抗体） ☐ 凝固因子検査（第Ⅻ因子活性、プロテインS活性もしくは抗原、プロテインC活性もしくは抗原、APTT） ☒ その他（〇〇〇〇検査）			

※1：夫又は妻のみの実施証明書の場合は、そのどちら一方の検査期間を記載してください。
夫婦双方の検査を証明する場合は夫又は妻の検査開始日のうち、どちらか早い日から検査終了日を記載してください。

※2：他の助成金を受けていない不育症検査に係る経費であること。